

vol.30

THE NEWS LETTER
2014 WINTER

日本歯科審美学会
Japan Academy of Esthetic Dentistry

巻 頭 言

会員・患者・国民の願いと期待に応えるために

日本歯科審美学会副会長 奈良陽一郎



本年4月から宮内修平会長を新たな旗頭として、本学会では13の委員会構成による会務運営が始まりました。会員の皆様の眼には、初年度の3四半期が過ぎようとしている今、新執行部の“働き振り”は如何映っておりますでしょうか…。

大きな期待を担われていらっしゃる宮内会長は、4,300名を超える会員一人ひとりにとって“親しみ”と“頼

り甲斐”ある学会でありたいと願い、とりわけ、これからの歯科医療を牽引する若き歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士にとって、より魅力ある学会へと育ててゆくことを希望されています。その方略としては、短・中・長期それぞれのビジョンを見据えた学会主導型トピックスを学術大会・セミナー・シンポジウムに導入し、時勢に呼応した情報・技術の提供を促すよう取り組み始めています。また学会という組織には、世代や職域等の垣根を取り払うと共に、若手が諸先輩の支援・指導を仰ぎながら経験を積み重ねることによって、認定医・認定士の取得に繋がられる環境の構築を目指しています。

さらに、学会としての社会的責務・信頼を果たすため、“法人化”への最終調整を図っています。去る11月22日・23日に高松市にて開催された第25回学術大会時の本年度総会では、協議第一号議案として「一般社団法人 日本歯科審美学会 定款案」が上程され、会員諸氏による承認を得ることが叶いました。これを受け、新年早々には各種書類の最終取りまとめ作業が行われ、平成27年4月1日の登記申請を経て、法人組織としての一歩を踏み始めることとなります。

併せて、ホワイトニングコーディネーターとして活躍されている約3,200名の方々には、患者・国民が望む最新の技術・情報・器材による治療を実践していただくために、また本学会は資格授与機関としての責任と支援を果たすために、平成30年4月以降の更新時までには暫時会員になっていただき、共に歯科審美に寄与して参りたいと願っております。

まだまだ皆様にお伝えしたいことはありますが、本稿ではここまでと致しましょう。

しかし、副会長は会長をガッチリと補佐し、会長は本学会の代表として会員・患者・国民の願いと期待をしっかり受け止め、執行部一丸となって、ひた向きに邁進して参りますので、今後とも宜しく願い申し上げます。

学術大会報告

歯科審美臨床と学術のハーモニー

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

生体機能再生・再建学講座歯科保存修復学分野 大会長 吉山昌宏



日本歯科審美学会会員の皆様、如何お過ごしでいらっしゃいますでしょうか。今年も残すところ1か月を切り、街角には師走の慌ただしさを感じることができます。

さて、日本歯科審美学会から第25回学術大会の主管を仰せつかり、11月22日(土)・23日(日)の両日、香川県高松市にごぞいます高松国際ホテルにて開催いたしました。幸い、

全国から約500名のご参加を得て、つつがなく幕を閉じることが叶いました。

今回の学術大会では、「歯科審美 臨床と学術のハーモニー」をメインテーマとしてポスター発表55演題をはじめ、Dr. Ricardo Carvalhoプリティシュコロンビア大学教授による特別講演、Dr. John SullivanならびにDr. Woohyun Kimによる招待講演、宮内修平学会長による会長講演、さらに保存・補綴・矯正領域の教育講演を開催させていただきました。また、審美修復におけるOne Day Treatmentの現状について、インプラント補綴における審美性の獲得と予後について、クラウンマー



宮内会長挨拶



特別講演

ジンと歯周組織についてをテーマとしたシンポジウム、加えて歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士それぞれを対象とするセッションを企画いたしました。さらに、これらのプログラムには、本学会の認定医・認定士およびホワイトニングコーディネーター資格の新規・更新申請に有効なプログラムを設定し、会員や参加者に活用していただきました。また、ポスター発表では、学会の表彰制度規則に則った優秀発表賞を見据え、発表者との間に活発な討議が行われておりました。一方、大会2日間を通じた3つのランチョンセミナーと31社による企業展示が行われました。加えて、各ライフステージにおける健康審美～今わかること、今できること～をテーマに市民公開講座を開催しました。講演者には、桃井保子 鶴見大学歯学部保存修復学講座教授と夏見歯科医院院長 夏見良宏先生をお招きし、高松市内を中心に市民の方々を含め約200名の聴講者にご満足いただけましたことを幸せに思っております。第1日目の夕刻に催した会員懇親会では、讃岐うどんを召し上がっていただきながら、思い思いの意見交換や親交を深めていただくことができましたようです。

開催主管の取りまとめ役といたしましては、ご発表なされた演者各位、ご来臨くださった参加者、加えて各種企業にご賛同いただき、協賛を申し出てくださった多くの企業・関係者各位に、心からお礼申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご健勝と益々のご活躍ご発展、あわせて素晴らしい新年をお迎えになられますようお祈り申し上げ、ご報告とさせていただきます。



会場風景



ビジネスミーティング

第26回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座 大会長 佐藤 亨



この度、第26回学術大会長を拝命しました東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座、佐藤 亨です。日本歯科審美学会の第8代会長を務めました際には皆様の多大なる御支援を賜り、厚く御礼申し上げます

私が主宰しております東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座は、本学会と縁の深い教室であり、本学

会創設者のひとりであります初代会長羽賀通夫先生が開設されました。当時は、事務局も当教室にあり、このたび学術大会をお引き受けするにあたり、その頃のことを思い起こしますと感慨深いものがあります。

今回は東京歯科大学が千葉から水道橋に戻ってきたことを機に、東京歯科大学水道橋校舎新館を会場として学会開催させて頂くこととなりました

今回の学術大会のテーマは“Show the world a nice smile”、キーとなるイニシャルを“E”としました。最初の“E”はもちろん“Esthetic dentistry” 歯科審美、第2の“E”は“Education”、学会の特別講演、教育講演、セミナー、ハンズオンなどで知識を身につけましょう。第3の“E”は“Exercise”、今回は大学校舎をしようするため、講演会場は2階・3階の血脇ホール、5階、8階、11階の教室で、ポスター業者展示は7階、12階、ハンズオンセミナーは10階、と2階から13階までの多くのフロアを使用します。エレベーターでなく、階段での移動を行い身体も動かしてください。第4の“E”は“Entertainment”、夜の会員懇親会はバスで東京ディズニーランドに移動、思いっきり楽しんで頭と身体をリフレッシュしましょう。そして最後の“E”は“Excellent”、本学会での多くの経験がより優秀な歯科医師としての活躍の手助けになることを期待しています。皆様とともにExcitingな学会にしたいと思います。

【開催日時】 2015年11月22日(日)・23日(月・祝)

【開催場所】 東京歯科大学水道橋校舎新館

(歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士それぞれのための“ハンズオンセミナー” ※学会期間内に開催・定員制のため、申し込み先着順)

プログラムは鋭意編成中です。学会登録開始日等の詳細は、学会誌および学会ホームページ(www.jdshinbi.net/)をご覧ください。

セミナー報告

第1回セミナー開催報告

ナグモ歯科クワバラクリニック 中村映子



平成26年9月21日(日)、梅田スカイビルタワーウエストにて平成26年度第1回セミナー、第1回ホワイトニングアドバンスセミナーが『歯科審美におけるチーム医療を考える』というテーマでセミナー委員会とホワイトニングコーディネーター委員会の合同セミナーとして開催されました。秋という行事の多いなか、天

候にも恵まれ、歯科医師20名、歯科衛生士124名、歯科技工士5名の合計149名と多くの方にご参加いただきました。

宮内修平会長のご挨拶でお話されていた『魅力ある学会をめざして』に相応しい演者の先生方で

【ホワイトニングアドバンスセミナー】

『ホワイトニングコーディネーターとしてやりがいを感じるため』

百瀬恵美先生(日本歯科大学附属病院総合診療科所属・歯科衛生士)

『プロフェッショナルを目指そう！ーホワイトニングアドバンスセミナー』

田嶋美樹先生(ナゴノ福祉歯科医療専門学校非常勤講師・歯科衛生士)

【ランチョンセミナー 協賛:(株)松風】

『CAD/CAMハイブリッドレジンクラウンの臨床』

中村隆志先生(大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座准教授)

【セミナー】

『CAD/CAM冠の保険導入とトレーサビリティ』

佐藤博信先生(福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野教授)

『歯周治療におけるチーム医療を考える 共に治し、共に癒す。歯周基本治療の裏舞台』

有田博一先生(有田歯科医院・東京都新宿区)

『接着を応用した審美歯科治療の最前線』

北原信也先生(TEAM東京ノブストラティブデンタルオフィス東京都中央区)

と、本学会の委員を中心とする魅力ある演者の先生方で、また受講者も歯科衛生士が多かったことでわかりやすく講演いただきました。

ディスカッションも、気さくに日ごろの疑問などを伺える雰囲気、とても盛り上がり、時間が足りないくらいでしたが、セミナーの内容も多角的な方向からの内容で受講者の先生方も熱心に聴講され、明日からの臨床に活力ある充実したセミナーになりました。

追悼文

寺川國秀先生を偲ぶ

クワタカレッジ・愛歯技工専門学校 桑田正博

親愛なる友が本当に逝ってしまったのか・・・信じられない、信じたくない気持ちです。優しい笑顔と人の心を癒してくれる寺川先生の声が私の耳から離れません。本当に“残念無念”悲しい気持ちでいっぱいです。

本年6月16日に佐藤二三江先生の呼びかけで、寺川先生をお誘いして中込敏夫君そして私とでお食事をさせていただきました。先生は、肉が食べたいと言われとても嬉しそうに、よく召し上がりました。その席で10月には、寺川先生の大好きなAmerican Society for Dental AestheticsのDr.Smigellに会ってきますよ、と話すと、ああ、よろしくね、スマイゲル先生によろしく・・・と、遠くアメリカに眼差しを向けているかのような表情で答えられました。

親愛の情をこめて言われた時の先生の顔を忘れることができません。中込君が撮ってくれた写真を持ってアメリカに行きました。寺川先生のお言葉を添えて差し上げた写真をスマイゲル先生ご夫妻は大変喜ばれました。

『彼らもDr.Terakawaが大好きでした』

NEW YORKに、悲しい知らせをすることになってしまいました。寺川先生、どうぞ安らかに休息ください、心よりご冥福をお祈りしています。

『さようなら・・・』



追悼文

黒田康子先生を偲んで

香川矯正歯科医院 香川正之



日本歯科審美学会に多大のご尽力、ご貢献を賜っておりました黒田康子先生が薬石効なく平成26年8月31日に永眠されました。先生は矯正歯科専門医としてまさに国際的に活躍されていたことは皆様、周知のことと存じます。先生は亡くなる直前まで現役で、数々のお仕事をこなされていました。私も

先生からご薫陶を受け、ご指導いただき、様々な学会や研究会と一緒に仕事をさせて頂いたことを忘れることはできません。

特に本学会におきましては2008年から2010年にかけて広報委員会委員長として会員向けのセンスのある、魅力あふれるニュースレターの作成と共に、一般社会に広く学際的な学会として、形態美、色彩美、機能美の調和を目指す歯科審美の本来あるべき姿を伝え、審美歯科への関心を高め、認知して頂くホームページの作成、更新にご努力されたことは特筆されることの一つになりました。本年、就任された宮内修平会長の下、本学会はますます一般国民に認知されて、魅力のある充実した学会に成長していくものと存じます。名誉会員となられた黒田先生、どうか天国より我々を見守っててください。そして、どうぞ安らかに眠りください。合掌



優秀発表賞受賞者のご紹介

優秀臨床論文賞を受賞して

日本大学松戸歯学部歯科矯正学講座 山口 大



この度は平成25年度日本歯科審美学会優秀臨床論文賞という大変名誉な賞を賜りましたこと、大変光栄に存じます。選考して頂きました先生方に感謝申し上げます。選考していただいた論文は「ローフォースローフリクションシステムを用いた広汎性重度慢性歯周炎を伴う成人前歯部開咬症例」です。

本論文を発表した背景として、矯正治療技術の進歩、QOLの向上を望む患者の要望の増加、少子高齢化などにより、矯正患者の年齢層の割合は増加している。一方、歯周病は年齢が上がるにつれて罹患している割合が多くなり、その罹患率は45から54歳で88%と報告されている。歯周病に罹患している歯を移動すると歯周病の進行を増悪させることから、成人、特に高齢者に対して矯正治療する場合は歯槽骨、歯肉の退縮などを最小限に抑えることが重要である。

ローフォースローフリクションシステムとは矯正治療を行う際に、セルフライゲーションブラケットを用いて、アーチワイヤーをブラケットスロットに固定することにより、少ない摩擦と弱い力で矯正を行う方法である。この治療法の利点として結紮線やエラストックモジュールなどを使わないため、ブラケット周囲に歯垢の付着が少なく、口腔衛生状態が良いこと、ローフリクションのためスライディングメカニクスによる空隙閉鎖が効率的に行えることがあげられる。

本症例は広汎性重度慢性歯周炎を伴う成人前歯部開咬患者に対してローフォースローフリクションシステムによる矯正治療を行い、歯周組織に対する為害性を最小限に抑えて前歯部開咬の改善を行った。さらに矯正治療後に歯周外科治療を行うことで歯槽骨の再生を促し、良好な歯周組織に改善した。歯周炎を伴う成人患者に対して矯正治療を行う際は矯正科と歯周科が連携し、歯周組織の改善を治療計画に組み込みことが重要であると考える。

稿を終えるにあたり、この論文が歯周炎を伴う成人患者に対して矯正治療を行う際の一助となれば幸いです。ご指導賜りました葛西一貴教授、齋藤綾一朗先生、池田忠貴先生、国井隆一先生、徳永理利先生に心から感謝申し上げます。

委員会報告

歯科審美編集委員会

平素、皆様から「歯科審美」にご投稿いただき感謝しております。お陰様で、「歯科審美」第27巻第1号を9月に発行することができました。この号では、原著3編、臨床・症例報告4編、そして特集として2編、合計9編の論文を掲載しております。原著論文からは、審美歯科に関連する基礎研究の一端をかいまみることができます。症例報告からは、審美修復を行う際の臨床におけるヒントが得られると思います。いずれの論文も内容が充実していますので、参考にしていただければ幸いです。

次号の第27巻第2号(平成27年3月発行予定)には2編のご投稿を戴きました。「歯科審美」は年2回、第1号と第2号が発行されておりますが、いつも第2号の投稿数が少ない傾向があります。今後は第2号へのご投稿もお待ちしております。なお、投稿締切日は、第1号：5月20日、第2号：11月4日となっております。ご投稿された2編の論文は、各々について編集委員が2名ずつ担当して査読を進めており、11月28日に編集委員会を開催して査読結果を検討する予定です。編集会議では各編集委員の査読結果をもとにかなり詳細に検討しますので、厳しい意見も出て参ります。しかし、厳しい査読によって論文内容は向上しますし、読者にとってわかりやすい論文になるのは間違いないと思います。編集会議での検討結果に基づいた論文修正を短期間でお願いしておりますので著者の先生方にとって大変なご負担かと思いますが、ご理解・ご協力のほどをお願いいたします。また、次号には無髄修復歯の予後にとって重要な「支台築造」に関する特集を企画しておりますので、ご期待いただきたいと思います。

「歯科審美」第26巻第2号から改訂された投稿規定が適応されております。第26巻第2号へご投稿された論文のほとんどは旧投稿規定に基づく郵送投稿でしたが、第27巻第1号へのご投稿は改訂された投稿規定に従ってすべてメール投稿されておりました。論文投稿時の利便性と論文査読の効率化を図るため、今後ともメール投稿にご協力いただければ幸いです。

「歯科審美」では、「審美修復」に関する症例報告・臨床のヒント等を重視していきたいと考えておりますので、積極的なご投稿を何卒よろしくお願い申し上げます。(委員長 新海航一)

.....

国際渉外委員会

日本歯科審美学会(JAED)は、アメリカ(AACD)および韓国(KAED)の学会と姉妹協定を結んでいます。このうちのKAED秋期学会が11月9日にソウルで開催され、宮内修平会長の代理として、国際交流委員会の中村、若林が出席しました。講演は3会場ですべて同時進行のスタイルで進められ、コンポジット、軟組織

マネージメント、インプラントなど12のセッションに分け、招待演者が講演を行いました。参加者は約800名とのことでした。

KAEDとは、毎年交互に演者を派遣しており、今年はKAEDを代表してDr. Woo-Hyun Kimが高松大会で講演を行います。また、高松大会では、AACDを代表してDr. J. Sullivan元会長が同じセッションで講演を行います。

JAEDは、AAAD(アジア歯科審美学会、Dr. Wang会長)およびIFED(国際歯科審美学会、千田 彰会長)に組織加入しています。12月5・6日にWang会長の地元仙山市(中国広州)でAAAD大会が開催され、田上直美先生(長崎大、国際交流委員会)、樋口鎮央先生(大阪府、認定士)、中村が講演を行います。さらに、2014年末からIFEDケープタウン大会(2015年11月)の事前登録が可能になります。ケープタウン大会には、チームアトランタを始めとして多くの著名な演者が講演を行う予定です。詳細は、JAEDホームページをご覧ください。よろしくお願いたします。(委員長 中村隆志)



KAED秋季大会メイン会場



KAEDのRyu会長と著者

.....

国内渉外委員会

本学会役員および会員の皆様方には格別のご支援を賜りましたありがとうございます。

国内渉外委員会の最重要事業であります「専門学校への出張講義」につきましては前委員長の福島正義先生のご功績の後を引き継ぎ、平成26年度も歯科衛生士専門学校および歯科技工士専門学校からの要請を受けて実施しているところでございます。本年度も歯科衛生士専門学校から35校、歯科技工士専門学校から5校の要請をいただき、講師の先生方を派遣し、「歯科審美学」に対する啓蒙を行っています。本年度は昨年度を上回る要請があり、講師の先生方には多大なご負担をおかけしていることをお詫び申し上げますと共に、ご協力に感謝申し上げます。本学会の「出張講義」も少しずつ浸透し、本年度新たに要請を受けた学校も数校ございます。これまでの講師の先生方のご尽力が実を結び、多くの学校にご理解をいただいているも

のと思います。講義内容としては、共通項目として「歯科審美学の基礎」を教授いただくと共に、各講師の独自性を活かしたユニークな内容を組み込んでいただいています。90分という限られた時間の中でいろいろ工夫していただき、「歯科審美学」の真髄の一端をご披露していただいていると感じています。講義が終えられた後、各専門学校からもご感想をいただいておりますが、いずれも「充実した内容でとてもよかった」「歯科審美学を通して各科目の横のつながりが理解できた」「歯科審美学を通して歯科医療に対する新たな発見ができた」・・・など好評を得ています。今年度も多くの講師の先生方をお願いしていますが、講師リストにおいて地域的な偏りがあります。したがって、全国各地からの要請に応えるべく講師リストの修正を行いたいと思います。地域性を考慮し、出張講義にご協力いただける先生方には改めてお願い申し上げます。なお、出張講義講師の条件として本学会認定医または認定士であることとなっています。

出張講義は、歯科技工士学校や歯科衛生士学校に対して「歯科審美学」の啓蒙を図り、正しい知識を理解することが目標であり、保存修復学・補綴歯科学・矯正歯科学などの学科目を横系列に関連付け、「歯科審美学」を通して国民の健康福祉の維持、増進を図り、歯および口腔諸組織の形態的、機能的、色調的な改善によって、日常生活を豊かに過ごせるように支援することが目的であります。

会員の皆様方から、国内渉外委員会に対するご意見、事業のご提案などを募集しています。『日本歯科審美学会』にふさわしい内容の事業などがございましたらご一報いただければ幸いです。

(委員長 末瀬一彦)

.....

社会・保険委員会

平成26年7月31日に歯科医師会館会議室で開催された平成26年度日本歯科医学会第1回ワークショップに参加いたしました。今期の保険取扱いが叶わなかった医療技術評価提案書に対するフィードバックがなされ、次期診療報酬改定に向けての留意点がディスカッションされました。この中には本学会が共同提案した案件も含まれており、平成28年度改訂に向け、関連学会との連携を確認いたしました。

特別講演として「ロコモチャレンジ」として大きなムーブメントを巻き起こした「ロコモティブシンドローム」に対する啓発活動の取り組みが報告されました。国民に関心を抱かせ、関連学会を巻き込むに至る具体的な取り組みと経緯をうかがい、アイデアとエネルギーが揃えば、歯科界においてもこのような

ウェーブを巻き起こすことができるのではないかと感じさせられる講演でした。

本学会の会員は、保険外の診療を行う機会が多いかもしれませんが、しかしながら、社会の要求と患者のニーズ、そして国の理解を得るための歯科医療を行う上で、保険収載として新たな歯科医療技術を広く提供する際に必要な方策は、保険診療のみならず、自費診療にも通じるところがあるものと思います。今後とも皆様のご意見をうかがいながら、関連学会にも働きかけを行こうと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

(委員長 藤澤政紀)

認定医・認定士審議会

認定審議会では、新規および更新申請の書類審査および新規申請者については書類審査に加えて臨床例をプレゼンテーションいただき、その審査を行っています。認定医申請時のケースプレゼンテーションに関しましては、そのポイントを“歯科審美 第27巻1号”に掲載しております。これを参考として、ぜひ多くの会員に認定を取得していただければと考えております。

以下に、平成26年度に行われました本委員会の報告をさせていただきます。

認定審議会の実施状況

1. 平成26年6月12日 平成26年度 第1回認定医・認定士合同審議会

- 1) 第36期新規認定医審査：書類審査2名(全員)合格
- 2) 第15期新規認定士審査：書類審査6名(全員)合格
- 3) 認定士更新書類審査：書類審査8名(全員)合格
- 4) 認定士更新書類審査：書類審査18名(全員)合格

2. 平成26年7月26日 平成26年度 第2回認定医・認定士合同審議会

- 1) 第36期新規認定医審査：口頭試問審査3名 2名合格(1名保留)
- 2) 第15期新規認定士審査：口頭試問審査6名(全員)合格

今後の予定について

- ・第37期認定医試験書類申請受付：平成26年10月31日(金)(必着)
- ・書類審査結果通知：平成26年12月19日(金)
- ・症例提示および口頭試問：平成27年1月29日(木)

取得の資格を有しておられる会員におかれましては、是非とも書類を整えられるとともに、症例につきましては準備をされますようお願い申し上げます。なお、申請に当たりましては本学会ホームページをご参照頂くか、(財)口腔保健協会日本歯科審美学会事務局までお問い合わせをお願いします。

(委員長 宮崎真至)

セミナー統括部会・セミナー委員会

セミナー委員会では、歯科審美の普及と啓蒙を目的に、本学会会員の認定医、認定士をひとりでも増やすため、また、多くの歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の方が本学会に入会していただけるように活動してまいります。そこで、今期は、都市部での歯科審美セミナー開催とともに本学会の会員の少ない地方での開催を企画します。また、若手の会員を対象に、アクティブメンバーの発掘、育成を目的に気軽に自分の症例が発表できディスカッションできる場を提供するために、学術大会の時に、「若手会員の症例発表」を企画したいと思います。

《事業報告》

●第1回歯科審美セミナー&ホワイトニング・アドバンスセミナー

【日 時】2014年9月21日(日)

【テーマ】『歯科審美におけるチーム医療を考える』

【会 場】梅田スカイビル22階

【参加者数】会員歯科医師15名、非会員歯科医師5名、会員歯科衛生士30名、非会員歯科衛生士94名、会員歯科技工士4名、非会員歯科技工士1名/計149名

【プログラム】

『日本歯科審美学会の活動について』

宮内修平(日本歯科審美学会会長)

『ホワイトニングコーディネーターとしてやりがいを感じるため』

百瀬恵美(日本歯科大学付属病院総合診療科所属・歯科衛生士)

『プロフェッショナルを目指そう!“ホワイトニングアドバンスセミナー”』

田嶋美樹(WC委員会委員・歯科衛生士)

『ホワイトニングコーディネーターアドバンスセミナー・ディスカッション』

椿 知之、山羽京子、百瀬恵美、田嶋美樹

『ランチョン・セミナー・CAD/CAMハイブリッドレジンクラウンの臨床』

中村隆志(国際渉外委員会委員長・大阪大大学院准教授)

協賛：(株)松風

『CAD/CAM冠の保険導入トレーサビリティ』

佐藤信博(学術関連部門部会長・福岡歯科大教授)

『歯周治療におけるチーム医療を考える 共に治し、共に癒す-歯周基本治療の裏舞台-』

有田博一(セミナー委員会委員長・東京都新宿区)

『接着を応用した歯科審美治療の最前線』

北原信也(セミナー委員会委員・東京都中央区)

●第25回学術大会(高松)における若手会員の症例発表

【日 時】2014年11月23日(日・祝)

《今後の予定》

●2014年度第2回歯科審美セミナー@島根

【日 時】 2015年2月8日(日)

【会 場】 島根県歯科医師会館

【演 者】 真鍋厚史(セミナー統括部会部会長・昭和大歯学部 教授)、北原信也(セミナー委員会委員・東京都中央区)、椿 知之(WC委員会委員長・東京都中央区)、鐘築 剛(ベル歯科医院 島根県安来市)、園山 潤(その補綴工房 島根県松江市)、秦 玲子(JAED会員・さいとう歯科医院 島根県出雲市)

●第1回歯科審美セミナー(東京)

【日 時】 2015年6月

●第2回歯科審美セミナー&ホワイトニング・アドバンスセミナー(福岡)

【日 時】 2015年8月

●第3回歯科審美セミナー@秋田

【日 時】 2015年9月

●第26回学術大会(東京)における若手会員の症例発表

【日 時】 2015年11月23日(月・祝)

(委員長 有田博一)

.....

ホワイトニングコーディネーター委員会

本年度は7月6日に第31回のホワイトニングコーディネーター(以下WC)講習会と認定試験が鶴見大学記念館で開催され、429名が参加しました。また次の第32回は9月21日に318名が参加し、梅田スカイビルで開催されました。9月21日はセミナー委員会との合同企画で、アドバンスセミナーも同時開催され、現WC委員の百瀬恵美先生と前WC委員の田嶋美樹先生がホワイトニングについての講演を行いました。その後、セミナー委員の山羽先生とWC委員長の椿の司会で、講師の先生方と参加者による活発なディスカッションが行われました。

11月に高松で行われた学術大会でも、23日に現WC委員の山口麻衣先生と前WC委員の酒井麻里先生によるホワイトニングアドバンスセミナーを行いました。



現在すでに3,000名以上のWCとそこから590名の会員が誕生しており、本年度はあと一回、来年1月25日に愛知学院大学で第33回のWC講習会と認定試験が予定されています。来年度は日本歯科審美学会の法人化に伴い、今回の学術大会中に行われた総会で承認されたWCの規約改正がおこなわれるため、旧制度でのWC認定試験はこれが最後となります。来年度からはWCの資格取得には日本歯科審美学会に入会する必要があり、現コーディネーターの方も次々回の更新までに入会が必要になります。資格要件は厳しくなりますが、学会に入会されたWCの方のために、ホワイトニングのスキルアップセミナーも増やしていく予定です。皆様のご理解をお願いいたします。

(委員長 椿 知之)

.....

歯科衛生士部門

平成27年1月25日(日)、愛知学院大学楠元キャンパスにおいて第33回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験が開催されます。ホワイトニングの基礎、臨床、カウンセリング、ケアなど幅広い講演があります。ホワイトニングコーディネーターを取得したいという方だけでなく、取得された方も最新のホワイトニング情報を勉強することが出来ます。

今回はすでに定員に達したため申込みは終了しましたが、来年度も引き続きホワイトニングコーディネーター講習会が開催されます。自分のステップアップになること間違いなしです。来年度は平成27年11月22日(日)・23日(月・祝)に東京歯科大学水道橋校舎新館(東京・千代田区)にて第26回日本歯科審美学会学術大会が開催されます。

第25回学術大会から、若手会員によるケースプレゼンテーションが新たに加まりました。日々の臨床で忙しくなかなかケースプレゼンをする機会がないという方が多いと思います。そんな方たちのためにプレゼンについて色々な意見交換・情報収集の場を設けた企画です。東京での第26回学術大会でも予定されています。是非奮ってご参加ください。(委員 山羽京子)

.....

法人化委員会

一般社団法人 日本歯科審美学会が設立されることになりました

会員の皆様におかれましては、いつも本会の会務に絶大なるご支援、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。お陰様にて、会員数の飛躍的増加、事業の拡大や充実化など本会は着実に発展しております。また、それに伴い社会に対する責任もますます重大になってきており、本会を任意団体から法人

化してその責務を明確にすることが、昨年の第24回学術大会時の総会(於 東京)で決議されました。

爾来、法人化委員会において、工程表に従い定款を中心に種々検討を重ねて参りました。本年9月下旬には、完成しました定款(案)のお目通しを皆様にご依頼し、頂きました貴重なご意見を参考にさらにブラッシュアップしました。そして、平成26年11月22日、第25回学術大会(高松)時の総会で、最終定款案のご承認を頂き、同時に平成27年4月1日を以て、現在の任意団体である本会を解散し、一般社団法人日本歯科審美学会が設立されることになりました。これまでの会員の皆様のご協力にあらためて心より感謝申し上げます。

今後も工程表に従い、法人設立に向け粛々と業務を熟してゆきます。また、法人に移行後も、種々の規則、施行細則の修正や財産の管理など、関連する委員会と共に検討すべき事項は山積しております。会員のみならずみなさまのなご一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。(委員長 富士谷盛興)

.....

表彰選考委員会

日本歯科審美学会は、第25回学術大会(高松)での総会において「一般社団法人」が承認され、いよいよ平成27年4月1日より、新しくスタートします。法人格を有することで、これまで以上に社会的責任が問われ、学会としても責任ある行動をとっていかねばなりません。それによって、行政や関連組織に対して発する要望や意見も正当に評価され、学会の価値も高まっていきます。会員の皆様方にはこれまで以上に襟を正し、責任ある行動に努めましょう。

さて、平成26年度の学会功労賞には黒田康子先生が受賞されましたが、極めて残念なことに受賞の報を聞くこともなく過日ご逝去されました。高松での学会にはお嬢様の黒田智子先生にお越しいただき、功労賞を宮内修平会長から手渡されました。黒田先生には、長年会員としてご活躍頂くと共に、学会評議員・理事・監事をお勤めいただき、歯科審美学会の発展に大きく貢献されました。受賞のお祝いとともにご冥福をお祈り申し上げます。

優秀臨床論文賞には山口 大先生(ローフォースローブリクションシステムを用いた後半生重度慢性歯周病を伴う成人開咬症例、歯科審美26巻1号掲載)が受賞されました。臨床的示唆を与える論文として高く評価されました。

優秀発表賞には松尾涼子先生(口もとトータルビューティーに関する研究-第2報、第24回日本歯科審美学会ポスター発表)が受賞されました。研究レベルの高さとともにプレゼンテーションの素晴らしさが評価されたものです。デンソプライ賞として価値ある発表でした。

今年度は、残念ながら優秀研究論文賞及び優秀賞奨励論文賞は該当がありませんでした。会員の皆様方におかれましては、学会に参加するだけでなく、発表し、それを論文に掲載することは極めて価値のあることで、『日本歯科審美学会』の一員であることを実感することでもあります。自らの臨床意欲を高めるためにも学会発表や論文投稿にぜひとも参加してください。

(委員長 末瀬一彦)



宮内修平会長と黒田康子先生の代理として功労賞を授与された長女の黒田智子先生

表彰委員会

本学会が当委員会に求めている事業として、会則第6章20条に明記された「学会功労賞、優秀論文賞、優秀発表賞(デンツブライ賞)の表彰を行う」がございませぬ。表彰委員会の報告として、直近の表彰についてお知らせいたします。

1. 平成26年度 学会功労賞受賞者

(受賞者氏名)黒田康子

(所属機関名)くろだ歯科・矯正歯科

2. 平成25年度 優秀論文賞受賞者

①優秀研究論文賞／受賞者なし

②優秀奨励論文賞／受賞者なし

③優秀臨床論文賞

(受賞者氏名)山口 大

(所属機関名)日本大学松戸歯学部歯科矯正学講座

(応募論文)ローフォースローフリクションシステムを用いた広汎性重度慢性歯周炎を伴う成人開咬症例

(発表学会)第22回日本歯科審美学会学術大会(2011年10月)

ポスター発表

(論文掲載) 歯科審美26巻1号(2103年発刊)26~32頁

3. 優秀発表賞(デンツブライ賞)受賞者

(受賞者氏名)松尾涼子

(所属機関名)昭和大学歯学部歯科保存学講座美容歯科学部門
(演題名)口元のトータルビューティーに関する研究 第2報
(発表学会)第24回日本歯科審美学会学術大会(2013年7月)P-38
以上の先生方が受賞なさいました。今後も会員の皆様からの
各賞に対する御意見・御推薦・御応募をお待ちしております。
(委員長 佐藤 孝)

.....

会則検討委員会

会員の皆様もご承知のとおり、昨年度総会において承認された
本学会の“一般社団法人化”は、その具現化に必須となる定款(案)
の最終的策定を経て、11月22日(土)・23日(日)開催の第25回
学術大会中に執り行われる本年度総会において、当該定款(案)の
上程によって審議を受けます。このニュースレターが皆様のお手
元に届く頃には結審がなされ、会員各位による信認が得られた場
合には、本年中に“一般社団法人化”に向けた設立登記申請をは
じめとする各種手続きが開始されることとなります。

これを受け、本委員会8名によるメンバー(大槻昌幸、大森か
をる、齊木好太郎、武井典子、奈良陽一郎、富士谷盛興、古地
美佳、柵木寿男)には“一般社団法人化”がなされた本学会の基
本的ルールを司る“取り纏め役”としての要務が求められます。
具体的には、常任理事会ならびに委員会からの諮問を受け、各
委員会の規程・細則 等をはじめとする律格に対し、総会承認さ
れた定款との整合性を図りながら確認し、会員諸氏は無論のこと、
患者・国民・社会にも納得いただけるそれら改訂(案)について
答申することが責務となります。私共メンバーは、冷静に、公
平に、深慮してことに当たるよう努めますので、宜しく願い
申し上げます。(委員長 奈良陽一郎)

.....

ホームページ・ニュースレター委員会

ニュースレター(NL)は年2回発行し、大会報告および案内、
各委員会報告、セミナー報告など盛り沢山の内容が掲載されて
いますので、冬号をぜひお楽しみ下さい。バックナンバーはホ
ームページ(HP)にて閲覧出来ます。HPには、最新のセミナー
開催や学術大会の予定などがアップデートされていますので、
www.jdshinbi.net/へアクセスをお願いします。

また認定医、認定士を目指す先生方には詳細な案内や記録簿
の見本等がダウンロードできますので、ご活用いただければ幸
甚です。最新の情報をアップできるように心がけておりますが、
何かお気づきの点がございましたら、ご連絡いただけますよう
お願い申し上げます。(委員長 橋場千織)

賛助会員一覧

相田化学工業株式会社

相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>

石福金属興業株式会社

石福金属興業株式会社
〒101-8654 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>

医歯薬出版株式会社

医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24
Tel: 03-6801-1301
<http://www.ivoclarvivadent.jp>



ウルトラデントジャパン株式会社
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-7-5
初台村上ビル4F
Tel: 03-5365-1760
<http://www.ultradentjapan.com>

長田電機工業株式会社

長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
Tel: 03-3492-7651
<http://www.osada-electric.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<http://www.quint-j.co.jp/>



グラクソ・スミスクライン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15
GSKビル別館8F
Tel: 03-5786-5012
<http://glaxosmithkline.co.jp>

クラレノリタケデンタル株式会社

クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraraynoritake.jp/>

サンメディカル株式会社

サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (お客様窓口): 0120-416480
<http://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



シロナデンタルシステムズ株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜離宮ビル5F
Tel: 03-5148-7895
<http://www.sirona.co.jp>



スリーエムヘルスケア株式会社
〒141-8684 東京都品川区北品川6-7-29
Tel (フリーダイヤル): 0120-332329
<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/index.html>



デンツプライ三金株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10

Tel: 03-5114-1001
<http://www.dentsply-sankin.com>



株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13

Tel: 03-3703-5581
<http://www.tokyogiken.com/>



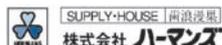
株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel: 03-3835-2261
<http://www.tokuyama-dental.co.jp>



株式会社ニッシン
〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル
秋野々町513
Tel: 075-257-7255
<http://nissin-dental.jp>



パナソニックヘルスケア株式会社
〒105-8433 東京都港区西新橋2-38-5
西新橋MFビル
Tel: 03-5408-7290
<http://panasonic.co.jp/hcc/phc/>



株式会社ハーマンズ
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-10-10
若葉西ビル4F
Tel: 03-3770-0863
<http://www.hermans1984.co.jp/>



プランネットワークス株式会社
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-34-14
宝ビル3階
Tel: 03-5452-4188
<http://www.dentwave.com>



ペンترون ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17
L・ジュ大井町6F
Tel: 03-5746-0316
<http://www.j-pentron.com/>



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5
Tel: 078-303-8241
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>



株式会社モリムラ
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-3836-1871
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
Tel: 03-3845-2971
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

株式会社SCIZ

PENTRON

Glass Fibre Reinforced Core Build-up System

しなやかに、そして美しく



症例写真「BUILD-IT FR with Fibrekor Post」 ご提供：原宿デンタルオフィス 山崎長郎 先生

FibreKor® Post

ファイバーコア ポスト

FibreKleer® Post 4X™

ファイバークリア ポスト 4X

NEW!!



Build-It® FR™

ビルドイット FR

高い X 線造影性をもつ「ファイバークリア ポスト 4X」が
新たに加わり、進化し続けるペンτροンのグラスファイバー
系支台築造システム

ファイバーコア ポスト 管理医療機器 認証番号:222AGBZX00195000号
ファイバークリア ポスト4X 管理医療機器 認証番号:222AGBZX00171000号
ビルドイット FR 管理医療機器 認証番号:21400BZY00278000号

製造販売元: **ペンτροン ジャパン株式会社**

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17 レ・ジュ大井町 5F・6F
TEL.03-5746-0316 FAX.03-5746-0320

Thinking ahead. Focused on life.



刀 KATANA

NORITAKE
Dental CAD/CAM System

天然
歯に
近似した
表現力



フルジルコニアクラウン用

マルチレイヤード

ML シリーズ

色境のないグラデーションカラー
ジルコニアディスクを採用。
簡便に高透光性かつ高審美な
フルジルコニアクラウンの
製作が可能となりました。

カラー : A Dark
染色なし/ノンステイン/研磨のみ



※イラストはイメージです。

歯冠色をした3シェードのバリエーション



カラー	A Light	A Dark	B Light
シェード目安	A1.5~A2	A2.5~A3.5	B1.5~B2

●販売名 ノリタケカタナジルコニア ●一般的名称 歯科切削加工用セラミックス
●医療機器認証番号 223AFBZX00185000 ●医療機器の分類 管理医療機器(クラスII)

製造販売 クラレノリタケデンタル株式会社 新潟県胎内市倉敷町2-28 〒959-2653

販売 株式会社 **モリタ**

大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 T 06-6380-2525
東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03-3834-6161

お問合せ お客様相談センター T 0800.222 8020 (フリーコール)

www.dental-plaza.com



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人／宮内 修平

編集／日本歯科審美学会

ホームページ・ニュースレター委員会

印刷／三宝印刷株式会社

日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/